

「そのとき、イエスとでしたちは」ガリラヤをとおっていった。しかし、イエスはひとにきづかれるのをこのまなかつた。それはでしたちに「ひとのこは、ひとびとにひきわたされ、ころされる。ころされて3つかめののちにふっかつする」といっておられるからである。でしたちはこのことばがわからなかったが、こわくてたずねられなかった。

いっこうはカファルナウムにきた。いえについてから、イエスはでしたちに「とちゅうでなにをぎろんしていたのか」とおたずねになった。かれらはだまっていた。とちゅうでだれがいちばんえらいかときろんしあっていたからである。イエスがすわり、12にんをよびよせていわれた。「いちばんさきになりたいものは、すべてのひとのあとになり、すべてのひとにつかえるものになりなさい」そして、ひとりのこどものてをとってかれらのまんなかにたたせ、だきあげていわれた。「わたしのなのためにこのようなこどものひとりをうけいれるものは、わたしをうけいれるのである。わたしをうけいれるものは、わたしではなく、わたしをおつかわしになったかたをうけいれるのである。」

せんしゅうのふくいんときょうのふくいんはイエスさまは、おなじこといっておられます。おぼえていますか。「じゅうじかでわたしたちのためにしんで、みっかめにふっかつすることでしたね」しかしでしたちはそのことをきいてこわくなって、どんないみなのか、たずねるゆうきがなかった。

またでしたちは、みんなが1ばんえらくなりたいからはなしあっていてけんかになりそうになった。イエスさまはそのことをわかっていましたので、みんなをよびよせていわれた。「1ばんになりたいひとは、すべてのひとのあとになり、つかえるものになりなさい。」またこのことをわからせるために、ひとりのこどものてをとってかれらのまんなかにたたせだきあげました。

イエスさまのじだいでは、こどもたちはかちのないものとしてあづかっていて、はんになまえで、ひょうかがひくくて、よわくて、やくにたたないものでした。

イエスさまは1ばんえらいひとは、こどもだといっていますので、でしたちはりかいできませんでした。そのうえに、イエスさまは「わたしのなのためにこのようなこどものひとりをうけいれるものは、わたしをうけいれるものである」でしたちは、ますますわからなくなって、びっくりしています。

いまも、せかいじゅうでいたみをせおい、ふあんのなかで、くるしんでいるこどもたちがたくさんいます。せんそうのため、じぶんのくにからにげて、いえも、たべものも、がっこうもぜんぶうしなって、まいにちふあんのなかですごしています。イエスさまはこのこどもたちのてをとって、そのこどもたちのためにひとのこころをうごかして、あんしんしてすごせるように、ちからをそそいでいます。

せかいのなかで、たくさんのこどものいのちが、なくなっています、こどもたちが、くるしんだりしていることをしていますか。わたしたち、ひとりひとりがなにかすることができれば、それがイエスさまをもっとちかくにかんじられるちかみちになるとおもいます。まず、じぶんのまわりにこまっているひとがいませんか、いれば、どうしますか。

ぬりえ

こどものひとりをうけいれるものは、わたしをうけいれるのである。

